

GP シンガポール 2017

参加記



2017/12/15 (金) -2017/12/17 (日)

Max atria@Singapore Expo



サンリオに支配されたチャンギ空港

目次

[この本について](#)

[GP シンガポール 2017 について](#)

[参加を決め航空券と宿を購入](#)

[参加パッケージとその申し込み](#)

[一日延泊して観光も入れることにする](#)

2017年12月14日(木)

[シンガポールへ](#)

[チャンギ空港のバーガーキング](#)

[チャンギ空港で夜明かし](#)

2017年12月15日(金)

[シンガポール中心部へ](#)

[夜明け前のマーライオン](#)

[ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ](#)

[GP 会場へ移動](#)

[開場前のバイヤーブース](#)

[ジャイアント・トライアル・シールド](#)

[日式レストランでうな丼を食べる](#)

[イクサラン ドラフト ポッド4](#)

[イクサラン ドラフト ポッド9](#)

[Foiled Again ドラフト ポッド5](#)

[ホテルにチェックイン](#)

[ゲイラン通りで夕食](#)

[ホテルに戻って就寝](#)

2017年12月16日(土)

2 [GP 本戦の朝](#) 21

3 [GP 会場へ移動](#) 22

3 [本戦構築開始](#) 22

4 [本戦開始](#) 23

[スコアキーパーの新兵器](#) 25

[本戦負け続け](#) 25

5 [明日の夜のプランを検討](#) 27

5 [クラーク・キーに移動](#) 28

6 [フーターズで夕食](#) 29

[クラーク・キーを散歩](#) 30

[ゲイランをもうひと歩きして戻る](#) 31

7

2017年12月17日(日)

8 [朝の日記書き](#) 32

10 [駅前朝朝食](#) 32

11 [会場へ移動](#) 33

12 [Big Prize Point シールドに参加](#) 34

13 [誤って自分のカードを捨てる](#) 36

14 [Big Prize Point ゲットだけ!](#) 37

15 [イクサラン ドラフト ポッド6](#) 39

16 [イクサラン ドラフト ポッド10](#) 40

18 [プライズのプレイマットを先取り](#) 41

18 [ジャッジコール発生](#) 42

20 [スマホを落として割る](#) 43

KFCでチキン丼	44	タクシーでラッフルズ・シティへ	47
ゲイラン通りを通過してホテルに帰る	45	ココイチに入る	48
ゲイランの夜遊びスポットを確認	45	ココイチで昼食	48
		空港へ移動	49
2017年12月18日(月)		サンリオの国	50
帰国日の朝	46	自分への土産も買う	51
朝食は餃子麺	46	ミャンマーに戻る	52

この本について

本書は2017年12月15日（金）～17（日）にかけてシンガポールのMax atria @ Singapore Expo にて開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GPシンガポール2017）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。現地の金額表記は原則としてSGD（シンガポール・ドル）で行いました。為替レートでは1SGD=85円くらいだったようです。

GPシンガポール2017について

GP（Grand Prix;グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。GPシンガポール2017（※1）はシンガポールで2017年に開催された大会ということになります。Chainlinks Event（※2）が主催し、会場はMax atria @ Singapore Expo（※3）でした。

※1 <https://singapore.cleventsgp.com/>

※2 <https://cleventsgp.com/>

※3 <http://maxatria.com.sg/>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的に筆者は、近場の海外のリミテッド GP にはお金や有休に余裕がある限り参加することをパターンにしておりますが、GP シンガポールではいささか事情が異なりました。10月のGP 香港同様、ミャンマーに駐在中の筆者は「会社を休んで次はシンガポールに遊びに行きます」とは堂々と言いきりにくい雰囲気だったためです。とはいうものの「日程が決まっている旅なら航空券はさっさと買ってしまったほうが良い」という鉄則があり、ミャンマーとシンガポール間直行便が Jetstar のセールで 149 ドル（米ドル）で出たため「ダメになっても **2 万円の損**ならいいや」ということで、まだ GP 香港にすら行けるかどうかも定かではなかった 8 月 25 日には申し込んでしまいました。木曜夜にミャンマーを出てシンガポールに深夜に着いて空港で泊まり、日曜の夜は空港で泊まり月曜の早朝に出て午後からは仕事という弾丸フライトの日程を組みます。同時に例によって直前までキャンセル可能な Booking（※1）で、安宿 Yew Lian hotel（ユー リアン ホテル ※2）の金・土を押さえました。

※1 <https://www.booking.com/>

※2 <https://www.booking.com/hotel/sg/yew-lian.ja.html>

参加パッケージとその申し込み

GP シンガポール 2017 では、次の参加オプションが提示されておりました。

BASIC	SGD 120	<ul style="list-style-type: none">・ GP 本戦の参加権・ 登録済のイクサラン 6 パックによるシールド・ スリープイン（BYE 持ちプレイヤーのみ）・ GP 本戦プレイマット・ ID カード
-------	---------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・ GP プロモ（大祖始） ・ デッキケース ・ バッグ ・ ドラフト半額権 3 回（早期申し込み特典）
PREMIUM	SGD 165	<ul style="list-style-type: none"> ・ BASIC で得られるものすべて ・ 金曜の Giant Trial（SGD 50）の参加権
PREMIUM PLUS	SGD 280	<ul style="list-style-type: none"> ・ PREMIUM で得られるものすべて ・ GP ブリスベン 2017 のプレイマット ・ 過去の ChainLink のプレイマット 1 枚 ・ ChainLinks 特製マグカップ ・ プレミアムシート（本戦固定席） ・ プレミアムペアリング ・ 日曜の PTQ（SGD 45）の参加権

GP 香港ともほぼ同じ構成で、自分は GP 香港同様に今回も BASIC で申し込みました。

「もしかしたらキャンセルするかも」というのも理由でしたが、一番大きいのは日曜日の**構築 PTQ に参加する気のない**自分としては割高であるためです。

この参加費体系は、改めて欲しいんだけどな ChaninLinks には（直接言うべきか）。

一日延泊して観光も入れることにする

ミャンマーで赴任中の自分はミャンマーのカレンダーで勤務していますが、申し込み後に 12 月 15 日（月）がミャンマーの祝日であることが判明します。さらにその後 Jetstar の都合でフライト時刻が変更になったため、便の変更が追加料金なしで可能になりました。このため自分は小躍りしつつ月曜の朝で予約した便を月曜の夕方に発つ便に変更しました。これで月曜も観光に充てられます。同時に宿も一泊延泊に変更しました。これで、あとは荷造りを済ませて当日を待つだけの状態になりました。

2017年12月14日（木） シンガポールへ

15時半にオフィスを早退して、まず自室でシャワーを浴びてから、荷物を持って出てタクシーを拾う。タクシーの中でパスポートとクレジットカードを確認。あとは無くても何とかなる。

渋滞にあっても余裕のスケジュールでしたが、17時にはヤンゴン国際空港のターミナル2に入りジェットスターのカウンターに並んで手続きを終了し、イミグレを通過。

しかしいつものエアアジアのターミナル3と違うターミナル2に入って驚いたのはその何もなさ。免税店もほとんど無く、ミャンマーの土産物屋が数店。あと食事ができるカフェも2軒だけ。

やむなくカフェで時間を潰そうか…と思ったら、市内なら50円のコーラ缶に280円とかいう値段だったのでさすがに阿呆らしくなったので、コンビニで買っておいたアクエリアスのペットボトル（33円）をちびちび飲んでベンチでグラブルをして時間を潰す。

18時半、ペットボトルを飲み切ったのでセキュリティを通過してゲート前に移動し19時半過ぎに搭乗する。自分の券をチェックするときにCAが「あなたの席は20Cだけど20Bも空席だから使っていい」と言ってくる。チェックインの際にはもう隣が空席なのは分かるから、発券されたチケットに捺してあるスタンプにそう書いてあったのかな。特別扱いされる理由はないが（笑）。

何ごともなく離陸。20:20に入国カードが配られて機内食の販売も始まったが、注文していない自分としてはどうでもよい。シンガポールまではわずか3時間。ミャンマーとシンガポールとの時差は1時間半なので、機内で時計を進めます。※ここからはシンガポール時間で記します。

そして日付が変わって0:21、何ごともなく機はシンガポールチャンギ国際空港ターミナル1に到着しました（なお、シンガポールは日本と時差が1時間あります）。

チャンギ空港のバーガーキング

イミグレを出て、ATMでとりあえずSGD 500を確保し、さらにSIMをSGD 32で購入してセット。うん、大丈夫なようです。

ではミャンマーで夕食を取れなかったので寝る前に遅めの夕食にしましょう。かなり空腹です。出国フロアを出ると目の前にバーガーキングがあったので、もうこれでいいやと決定。

カウンターで「ダブルウェスタンワッパー」というもののセットを注文。SGD 13.35。ええと、千円ちょいかな？まあダブルワッパーのセットなら日本でもそんなもんでしょ。



もう 12 時間近くも何も食べていないのでダブルワッパーでも楽勝だよねと思ったらかなりのボリュームでした。

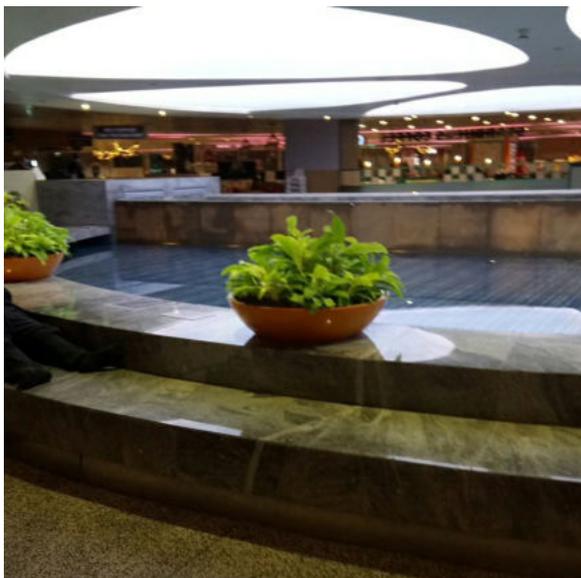
非常においしく頂きましたがもう満腹です。オーダー時は非常に空腹だったので、もう一品頼もうかなとも思ったのですが、頼まなくて本当に良かった…。

食後、夜の薬を飲みます。

チャンギ空港で夜明かし

1 時半にバーガーキングを出てトイレで手を洗い、MRT 駅のあるターミナル 3 にシャトルで移動しました。

今は空港内もクリスマスの飾りつけでいっぱいなのですが、シンガポールでも人気なのかなマイメロディ。



MRT 乗り場を確認すべく地下 2 階へ移動し、発見。始発は 5:30 なので、それまではこの近くで仮眠を取ることにしましょう。

しばらく構内のベンチなどを探した結果、水平に横になれる場所を発見しました。

ここだな。すでに寝ているお仲間もいます。

自分も横になり、2 時半に就寝。

2017年12月15日（金） シンガポール中心部へ

5時に目が覚めたので起きる。正直なところここは水平だけどやっぱり硬くて冷たいし、幸いに体調は崩さなかったものの、空調も含めてちょっと寒い。

MRT 乗り場に移動するが、まだ入り口のシャッターが閉じている。まあ、待つしかない。周囲に始発待ちのお仲間もそこそこに居る。

入場できるようになったので、自販機でラッフルズ（Raffles Place）駅の値段をみるとSGD 2.5。ICカードにチャージできるようだったためカードの自販機を探すも見当たらなかったの、仕方なく普通に切符を買う…なるほど切符自体にチャージ可能で、繰り返し使えるのか。



この切符には10セントのデポジット代が加算されているがそれは3回使えば返金され、6回使うとさらに10セント戻ってくるのか。言ってしまうと10セントとかどうでもいいんだけど、なかなか賢いシステムですねこれは。なお自販機は小銭と2ドル札までしか使えないので注意。

5時15分、改札が開いたのでホームで始発を待つ。そして5時28分、乗車。

空港駅（Changi Airport）からはMRT 空港線でまずタナ・メラー（Tanah Merah）駅までの2駅。そしてタナ・メラー駅からはラッフルズ駅までMRT 東西線（East-West Line）で10駅。タナ・メラー駅では左右のドアが開く。東西線のどちらに乗るかで降りるホームを選ぶわけか。人が多く降りたほうで降りたら、果たして中心部の西行きのホームであった。正解。

あとは東西線14番のラッフルズ駅で降りれば良いだけだ。

夜明けのマーライオンが俺を待っているだろう。

そして6時過ぎにラッフルズ駅に到着。まあ10駅ならこんなもんでしょう。どうやら空港から市の中心部までは1時間もみておけば十分なようです。

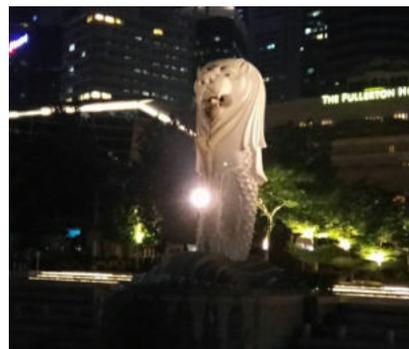
夜明け前のマーライオン

地下鉄駅を出て Google Map で目的地のマーライオン公園を目指す。まだ真っ暗で地理も明るくなかったものの、何も迷わないで 10 分ほど歩いたら到着。Google Map は偉大です。

「24 年ぶりだね」

「…来たよ」

とかいつものアルペジオごっこを脳内でする。



どうでもいいことですが筆者は 1993 年に仕事でシンガポールに来たことがあるのです。



本当はこの本のためにも朝のマーライオンを撮影する予定だったのですが、まだ真っ暗ですよ。ついでに観光客なんか誰もいませんよ。1 人ジョギングをしてる人が通りかかりましたが。正面の良いアングルの写真を撮り放題ではあるのですが 1 分で飽きました。このへんがさすがは**世界三大がっかりの**風格です。

これ以上時間を使うのは不可能だったので、公園入口に戻って次の目的地に向かうことにしました。所要時間 10 分。

帰りがけに振り返って「うしろマーライオン」の写真をパチリ。…公園の入口の位置から、外を向いているマーライオンを見に来た観光客が最初に目にするのがこのアングルであるあたり、世界三大がっかりの名を欲しいままにする貴祿かと思いました。

ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ

マーライオン公園を出てから次の観光スポットであるガーデンズ・バイ・ザ・ベイ (GBTB) に向かうことにしました。地図で見る限り 2km もないので、まあ歩いていけないこともなさげ。

マーライオン公園を出てほどなくすると夜が明けて、明るくなってきました。いまいちど戻って朝焼けの光の中に立つマーライオンを撮影する価値は…別にないな（笑）。

スマホの充電ケーブルが抜けていて充電がほぼ0%だったのに気がついて慌ててさしながら歩く。GBTBはこの本の表紙にしようと思っていたスポットだったので、ここでカメラが使えないのは困ります。そんなこんなで、30分ほどてくてくと歩き7時に到着。そしてようやく夜が明けました。

撮影したいスポットを探してなお庭内をてくてく歩きます。朝のガーデン散歩と思えば悪くないのですが歩き疲れたし汗だくだし、喉も乾いたし、ついでにトイレにも行きたい状態（笑）。

GBTBは事前調査では、敷地内のどこまでが無料エリアであるか今ひとつ分からなかったのですが、



とりあえず中央を目指すと、見たかった人工ツリーが目の前に姿を現しました。

これこれ。これを見たかったのだよ。

ラヴニカというか、ゼルダというかの異世界感。

さらにトイレがあったので入って済ませる。

あとは冷たいものが飲めれば完璧なのですが、どうもこの時間に開いている店はなさそうですね…どこでも飲み物の自動販売機がある日本が恋しくなりました。

店が開くのは9時からのようです。

掃除をするスタッフ以外の姿は見当たらず、貸し切り状態だったので根元のベンチにごろりと横になって真下から撮影するなど、やりたい放題。朝の涼しい風が気持ち良くて、いっそ今日はあと2時間ほどここで横になっていれば良いのではと思ったほどです。すこし眠くもあるし。



しかしながら、そのまま 20 分ほど横になっていると、だんだん日が昇ってきて暑くなってきました。このため喉も乾いたし、起きて庭園の無料エリアをさらに歩くことにしました。

まだ無人の案内所にあったパンフレットを取り、ベンチに座り庭園内の地図をつらつら眺めます。ライトアップされたこの庭園も綺麗そうでもあり、また今はクリスマスの夜イベント（有料）をやっているものの、わざわざまた来るには及ばないかな…な感じです。

結局のところ店はやはり 9 時前には開かないようでもあったので、8 時半過ぎに離脱することにしました。この頃には観光客がちらほら入園していましたが、自分は退場。

まあ、無料でこの風景が見られただけでよしとしましょう GBTB（表紙の写真を撮る）。

GP 会場へ移動

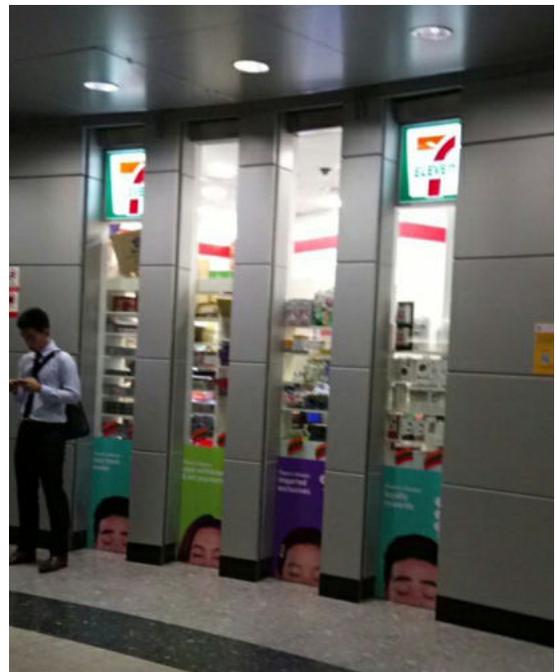
GBTB を出て MRT ベイフロント（Bayfront）駅に入るなりセブンイレブンを発見。やったー！冷たい飲み物が買える。

ペットボトルはおおむね 1 本 SGD2.5。約 200 円。まあ仕方ないな。買ってごくごく飲む。

人心地ついたので今日の予定を確認。

基本は会場に 11 時までには移動することですが、まだ 2 時間以上あるな…。

とはいえこの地下街で時間を潰しても仕方ないし、待つのは会場前でいいだろうな、ということで移動を開始。



このとき、いきなり通信ができなくなってしまって驚くが、どうやら初期データ分のチャージを使い切ったらしい。ここから先はプリペイドで買った SGD 32 ぶんを自分でデータ通信へと振り分ける必要があると判明。料金は 1 ギガ SGD7。

画面を操作してほどなく通信回復。よし。これで戦える。

ペットボトル 1 本を飲み干してしまったので、セブンイレブンでもう 1 本買い、さらに MRT のチケットに切符 1 回をチャージして 9 時 20 分、改札を通過して環状線（Circle Line）に乗る。



もう朝食にして良い時間だが、昨夜のバーガーキングが重かったので全く腹は減っていない。どうしたものかな。会場近くで軽くつまむか昼間で持たせるか。タイミングを見て朝の薬も飲まねばならぬ。

9時35分PAYA・レイバー（Paya Lebar）駅で環状線から東西線に乗り換え。

この駅のホームは外気が入ってきて暑い。

昨日から使っているタオルが、すでに絞れば汗が垂れるほどで気持ち悪い。新しいのに替える。今夜洗濯しよう。

再びタナ・メラ駅で空港線に乗り換えて1駅。

10時ちょうどにエキスポ（Expo）駅に到着。さて会場はどっちかなと思ったら、出た目の前がすでにエキスポ圏内だった。いいね！あとはマックス・アトリアというのがどこにあるのだが。

案内に従って施設内の通路をずんずん進む。空調が効いているので、暑くはない。そして施設内には見慣れた飲み物の自動販売機を発見。なんだシンガポールにもあるじゃないか自動販売機（なおこの会場の外ではついに発見できませんでした）。

自分が正しい道を歩いている確信は持てたものの、歩いてもなかなかマックス・アトリアにたどりつけない。

途中、バーガーキングを見かける。会場の昼飯はあれでいいかなあ。また途中の展示会で本の市をやっていた。あとで覗いてみるかなあ。

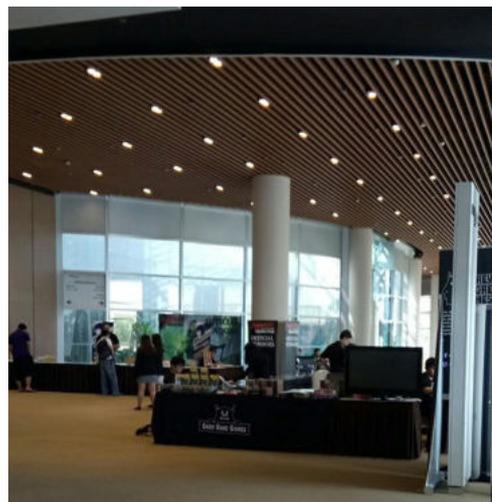


開場前のバイヤーブース

10時20分にGP会場に到着。結局、駅からは**徒歩で20分**は見る必要があるな。

置いてあったGPパンフを取る。入場可能なのはやはり11時からなのであと30分くらい時間を潰さねばならない。とはいえバイヤーブースやアーティストエリアは会場の外に配置されていたので、ぶらぶらとバイヤーブースを歩いていけば良い。

特に自分が欲しいものは何もなかったのだが、日本では発売されたばかりの Unstable が大人気のため、品薄であることから店頭ではプレミアがついている状態でした。このため友人から「希望小売価格の 12000 円で買えるようならば買って置いて欲しい」と依頼されていました。このため Unstable を売っているブースに行くも値段が書いてないため「Unstable 箱はいくらだ？」と聞く。当初向こうが「買取価格」のことと勘違いし少し会話が噛み合わなかったが、それはともかく店員は、こちらが



日本人であることに気が付くと、目の前でスマホを操作し電卓に **16000** と打ち込んだうえで割り算して「SGD 192 だ」とか言いやがった。くっそ www 購入は見送り。

SGD 150 くらいだったら土産に何箱か買うつもりだったのたがなあ。

あとはパンフを読んで開場を待つ。今回の GP ではこの施設の 2 ホールを用意していたのですが、どうやらサイドイベント用の 1 ホールはほぼ使用しない感じ。そしてホール内の飲食は禁止と知る。飲み物もダメなのか…。

ジャイアント・トライアル・シールド

11 時に開場したのでただちにエントリーを済ませたうえ、ジャイアント・トライアル・シールドにエントリーします。SGD 50。

待ち時間に一式の中身を確認。

これが最後の大祖始様プロモなのかな…。



そーいえばジャッジ参加の Gen ちゃん居る

かな？と思った矢先に本人が登場。ただし今日はプレイヤー参加らしい。

そうこうするうちに構築席が発表されたので移動し、構築開始。

レアはまあまあで、白赤で構築する。さて、どうかな。
構築テーブル向かいの黒人あんちゃんが彼女から買った昼飯の
差し入れを受けていた。会場内は飲食禁止だとか野暮なことは
言わないぜ幸せ者め。自分はまだまったく空腹を感じず。

12時半にドラフトのポッド1が立ったとのアナウンス。まあ、
負けたらあとはドラフトだが、さて…。

《穢れを灰に》
《ヴラスカの侮辱》
《アングラスの匪賊》(Foil)
《ティロナーリの肌変わり》
《ヴァンスの爆破砲》
《太陽の化身、ギシャス》
《人質取り》

取りレア

Round1 NO SHOW

…ま、勝ち勝ち。そろそろ腹が減ってもきたので、ナイス昼食タイム。

Round2 Chanさん 白赤 ××

G1 マナの計算を間違えて、フルパンで殴りに行った後でバウンス用のマナを確保し損ねたため、
相手がそのまま殴ってきて終了。あほですか俺は。

G2 負け。シングルエリミなのでこれで終了です。

日式レストランでうな丼を食べる



12時50分に1回戦不戦勝の後で40分くらいあるので会場近くで昼食を取ることにしました。

駅のほうに戻る途中に日式レストランがあったので
入ってみることにしました。

怪しい日本語のメニューですが、うな丼があります。
SGD 16.9 というと1400円くらいでしょうか。

高い昼飯ではありますが、カツカレーとかでも
1200円くらいするこの店としては、お値ごろ感が
ありましたので、そのまま注文。

結局ミャンマーでもウナギを食べられてないしなあ。

ふむ…まあ普通にウナギ、かな。

しかしうな丼に福神漬か…。

続いて味噌汁を口にすると**薬臭い**。

大幅減点。この店はダメだな。

うなぎと野菜を食べて、味噌汁と福神漬けを残して朝の薬を飲んで終了。

会場に戻ると13時半。



イクサラン ドラフト ポッド4

ジャイアント・トライアル・シールドの2回戦に負けたので、14時15分、ただちにドラフトポッド4にエントリーする。半額バウチャーでSGD11。そしてただちに成立。いいね！

《トカートリの儀仗兵》
《秘儀での順応》
《巧妙な精神魔道士、ジェイス》
《船回呑み》
《探査の短剣》
《不吉な旗艦》

1-1 《巧妙な精神魔道士、ジェイス》。青で決め打ちスタート。

取りレア

1-2 《自然形成師》。以後、青緑で決め打ちピック。

Creatures: 15

《クメーナの語り部》
《見習い形成師》
《難破船あさり》
《風雲艦隊の空中要員》
《財力ある船乗り》
《セイレーンの見張り番》
《水罨織り》* 2
《貪欲な短剣歯》
《自然形成師》
《嵐を変容する者》
《大嵐呼び》
《翡翠の守護者》
《大気的精霊》
《風を跨ぐ者》

Spells: 9

《選択》
《呪文買き》
《航路の作成》
《風と共に》
《危険な航海》
《海賊の獲物》
《深根の水域》
《欲望の深み》
《巧妙な精神魔道士、ジェイス》

Lands: 16

《森》* 6
《島》* 10

構築デッキ

しかし上と露骨にかぶったのか、1パック目ではクリーチャーを4体くらいしか引けなくて青くなる。なんとか2-3パック目でかき集めて体裁をつける。青緑ではあるものの、マーフォークとしてのシナジーは強くない。厳しめかな…。

Round 1 Kuoさん 青緑 ×○○

- G1 土地が来ず後手ダブマリ。負け。
- G2 回って勝ち。
- G3 回って勝ち。

Round2 Shuさん 黒赤 ×○×

- G1 相手は後手マリガン。カトラス3本に目をむく打点負け。
- G2 相手は後手ダブマリ。クリーチャー事故で勝ち。
- G3 微妙にマナが伸びずにバウンスなどのマナを残せない状態で、まだ13点あったため相手の3体攻撃を通したらバットリ2枚を使われて一気に追加4点を足されて削られて負け。
うーん、これは判断ミスかなー。

ま、こんなもんでしょう。次いこう次。

イクサラン ドラフト ポッド9

16時、ただちにエントリーして、ただちに立つ。SGD 11。

- 1-1 《聖域探究者》。白黒吸血鬼で決め打ちスタート。
- 2-1 《ヴラスカの侮辱》。即取り。

《征服者のガレオン船》(Foil)は、下のほうまで流れてきたのを、綺麗だったので取りました。白の吸血鬼クリーチャーがほとんど引けなかったものの、黒の吸血鬼のシナジーのアンコモンはたくさん引けて、そんなに失敗ドラフトではなかったと思うのですが…。

《聖域探究者》
《ヴラスカの侮辱》
《征服者のガレオン船》(Foil)
《陰鬱な帆船》

取りレア

Round1 Yaoさん 白赤 O××

G1 相手は先手マリガン。こちらが《司教の兵士》に《海賊のカットラス》を持たせたりして、ライフを回復しつつなんとか勝ち。

G2 普通に打点負け。

G3 負け。

2枚も入れていた《吸血鬼の印》を1回も引けませんでした。あれでライフを回復して巻き返すのが吸血鬼の基本戦略だからなー。まあ、ちかたないね。

シングルエリミなので終了。

Foiled Again ドラフト ポッド5

17時20分、Foiled Again ドラフトにエントリー。

バウチャーは使えないのでSGD 22を普通に支払う。

スイス3回戦だから終了は21時になってしまうかな…。

8人そろって17時50分、ドラフト開始。

流れからは青黒海賊かなー、と思いつつ。

《秘滝の軍使》

《川の叱責》

取りレア

Creatures: 15

《川潜み》
《見習い形成師》* 2
《凶兆艦隊の貯め込み屋》
《財力ある船乗り》
《セイレーンの見張り番》
《水毘織り》
《巧射艦隊の拷問者》
《巧射艦隊の操舵手》
《源流の歩哨》* 2
《秘滝の軍使》
《大嵐呼び》* 2
《凶兆艦隊の侵入者》

Spells: 9

《卑怯な行為》
《風と共に》
《板歩きの刑》
《欲望の深み》* 2
《海賊のカットラス》* 3
《川の叱責》

Lands: 16

《島》* 9
《沼》* 7

Sideboards:

《座礁》* 2

構築デッキ

2-1 色が合っているので《秘滝の軍使》を取る。

3-1 色が合っているので《川の叱責》を取る。

カットラスを3本拾うも、海賊がぜんぜん足りずマーフォークも拾うがシナジーは薄い。普段は入れない4 マナ 2/5 を2体も入れなければならない時点でダメ。+1/+1 があまり乗らないので《秘滝の軍使》が実質ただの4 マナ 2/3 になっている。厳しい。

Round1 Wonさん 青黒 OO

回って勝ち。

Round2 Jagonさん 白赤 xOx

G1 後手マリガン。負け。

G2 順調に回って勝ち。

G3 土地ばかり引いて負け。

Round3 Chayさん 赤黒 xx

有効打をぜんぜん引かずにストレート負け。

結果 1-2 で、獲得するフォイルは2枚。過去の Foiled Again の例からは、割とどうでもいいプロモしか貰えなかったので今回もまったく期待してなかったのですが、何と今回は全員《致命的な一押し》を1枚配ったうえで、残りをランダムで取るという異例の**太っ腹**

ぶりでした。これは嬉しいサプライズ

でしたね。もう1枚のプロモは《無許可の分解》。まあ、こちらはどうでもいいです。



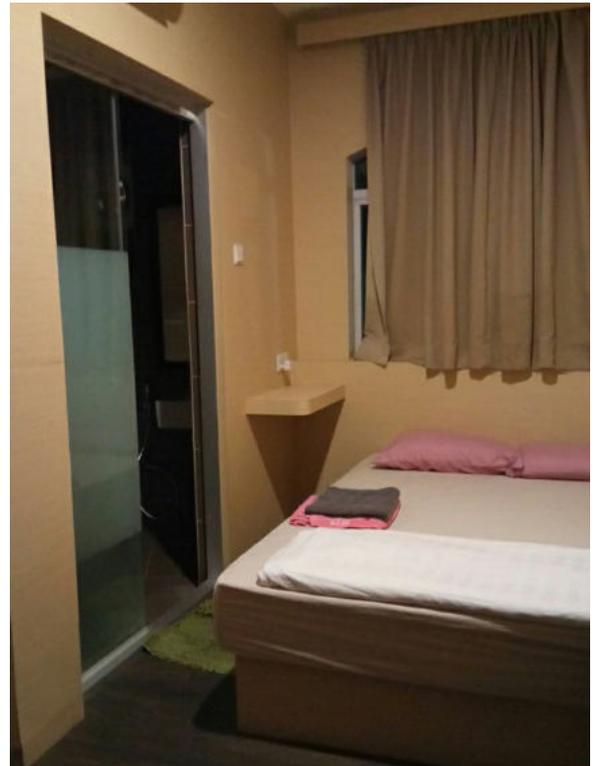
20時に会場を離脱。さ、明日はいよいよGP本戦ですよ！

ホテルにチェックイン

エキスポ駅で切符をチャージしホームへ。同様に
タナ・メラ駅で東西線に乗り換えてから 20 時
45 分にアルジュネ (Aljunied) 駅で降りる。
まずはホテルを探そう。

夜道ゆえの方向を間違えたりして少しだけ迷うも、
それでも Google Map の案内があればたどりつけ
ないということはなく、21 時にはホテルを発見し
チェックイン。

3 日分の宿泊日 SGD 248 を現金で要求され一瞬
戸惑うも、財布の中にまだ残っていたので支払う。
しかし財布の中の現金がいささか心もとない額に。
部屋に案内されて入る。まあ、こんなもんだらうなあ。



ゲイラン通りで夕食

鍵を受け取り荷物を置いてホテルを出る。では夕食にしよう。このホテルのあるゲイラン通りは、
シンガポールの中でも有数の歓楽街であり、夜遅くまで屋台やらが開いているとネットで読んだ
ので期待しているのだ。あと利用する気はないものの**風俗店も充実**しているらしい。

このホテルの 1 階にも飯屋があるのだが、シーフードが中心のようなのでパスして通りに入る。
このホテルはゲイラン通りのほぼ東端にあるので、店を覗きながら通りを西につらつら移動。

銀行の ATM があったのでさっそく利用を試みるも、クレジットカードを入れてもうまくいかない。
すでに 21 時を回っている時間帯のせいなのかもしれないが、何にせよこれでは今夜は**風俗遊びは
できない**夕食を食べるくらいしかできないな。

…ていうか、こっちの懐具合はともかく、ぼくは
ゲイラン通りを歩けば、そこかしこに男の欲望を
刺激する風俗への誘いがあるものとネタを拾いに
期待していたのに、その手の店がぜんぜん見当り
ません。おっかしいなあ。

アダルトグッズショップとKTVはあるんだけどね。

つらつら歩くうちにゲイラン通りの西端まで来て
しまったようなので、諦めて中華料理屋に入る。

暑いので給仕のおねえちゃんがホットパンツで接客していますが、ここは風俗ではありません。

そこそこ腹が減ってきていたので、メニューを見て排骨ライス (SGD 5) を注文したうえで、
迷った末に麻婆豆腐の量を聞きながらSサイズ (SGD 12) を注文し、冷蔵庫からコーラも取る。



まずは排骨ライスが届く。

…やばいな。これだけで普通に1人前ある。
これだけで十分だったのではと思うも、もう遅い。
これでSGD 5なら麻婆豆腐のSGD 12は一体。

とりあえず排骨ライスを食べ始める。

うん、安い味だがこの値段ならこんなもんだらう。

そして問題の麻婆豆腐が到着。でーん！
値段がそこそこ良かったとはいえSサイズでも
このサイズですか。食べきれるかなあ。

失敗したなあと思いつつ口に運ぶと、**旨さに
声が出た。**

いわゆるヒーハーする辛さではなく食べた後で
じんわり来る舌が痺れる系の辛さ。これは旨い。
こんな安いつくりの店でこの味を楽しめるとは、



正直なところ驚きました。

明らかに注文し過ぎのお金の使い過ぎなのですが、とりあえず**後悔は消えました**。

とはいえ排骨ライスも麻婆豆腐も半分ずつくらい残してしまいました。失敗。

ホテルに戻って就寝

夕食を終えると22時を回っています。時間的にも、あとはもうホテルに帰るだけでしょう。

来た道をそのままゲイラン通りを東に戻ります。

途中、アダルトグッズショップを覗いてみたりするも、特に買うものはありません。

さらにKTVの店にはたいてい両側に細い上り階段があったので覗いてみたのですが、2階3階の扉には特に看板の類は見えませんでした。

(だけどこれ、たぶん連れ込み場所なのかな…とは思いました。確認などできませんけど)

コンビニでアイスと飲み物などを買い、22時半過ぎにホテルの部屋に戻る。シャワーを浴びる。

シャワーを浴びた後でPCで今日のマジック日記を書いていたら、気持ちよく寝落ちしてしまったようでしたが、続きを書いてDiaryNoteにアップロードすると午前2時を回っていました。



実のところこの部屋は、TVがなぜか使えず（当然文句を言ったが特にスタッフのフォローもなし）、エアコンの効きも悪くて（外気よりは涼しいものの冷たい風を楽しむこともできず）といった割と酷いものなので、多分次は利用しないと思います。

室内は汗がじわるくらいの冷房の効きなので、このまま裸で寝てしまうことにしました。

明日は9時頃までは寝ていてもよいのですが、この部屋に長居することもないので、夜が明けたらすぐ分かるよう窓のカーテンを開けて就寝。

2017年12月16日（土） GP 本戦の朝



7時前に目が覚めたので起きる。

2バイスリープインなので10時30分にはまだ余裕ですが、開場は8時。今すぐ出てもう開場前で待たされることはないし、まずは朝食を取らねばなりません。

この安ホテルの質はいまいちなのですが、とりあえずシーツとベッドの上でぐっすり5時間眠れただけでも、やはり空港ベンチの3時間とは大違いですね。

のんびり服を着てホテルを出て駅に向かいます。いい天気。駅に着くと8時。駅前に開いている安い飯屋があったので、チャレンジしてみることにしました。

壁掲示の写真入りメニューを見て餃子麺とラクサのどちらにするかを悩んだすえ、今日はラクサを注文することにする。ラクサというのはシンガポールではポピュラーな料理のようなのですが、GP香港のセブンイレブンでラクサ味のポテトチップスを買った時にはまだ食べたことがなかったんですね（GP香港2017参加記を参照）。

並んでアクリルのトレーを手にして自分の番が来たら注文。おちゃんが注文を受けてから目の前で作るスタイルです。SGD 3を支払って受け取って空席に移動します。



なるほど、これがラクサのヌードル。

うん、おいしいです。確かに先日香港で買ったラクサチップスもこんな味でした。

たっぷり汁を吸った油揚げがおいしいです。

これでSGD 3はお値打ち価格ですね。

明日はここで餃子麺を頼んでみましょう。

GP 会場へ移動

おいしい朝食を食べ8時半前に店を出ると、目の前はアルジューネ駅。よしホテルから駅までの最短ルートも掌握したぞ。SGD 1.8を支払ってエキスポ駅までの切符をチャージし東西線へ。所持金がSGD 50を切っているの、とりあえずATMを見つけたら現金をおろそう。今夜はフーターズだし明日の夜はカジノの予定だから、多めにおろしておくべきだろう。金は使うためにある。観光地で財布の中の現金量を気にして行動を制限するのは避けたい。

タナ・メラー駅で降りてホームの向かいの空港線に乗り換えて8時40分にはエキスポ駅に到着。エキスポ敷地内をつらつら歩き、残念な日本食レストランを横目にしつつ、9時前には会場到着。

本戦構築開始

ちょうど本戦でもプレイヤーミーティングが始まった時間ですが、どうやらバイ持ちも、今すぐに構築が開始できるようでした。受付で番号札を貰います。これは座席番号ではなく名簿にあった自分のプレイヤー番号でした。

案内された席に座って、そこそこ人数が揃うのを待ちます（自分は5人目でした）。周囲のプレイヤー達が日本語で会話をしていたので、日本語で話しかけて混ざります。



バイなし本戦プレイヤーへのリッカルドのアナウンスが始まりました。いつもの日本人の耳にもやさしいゆっくり英語です。よし御褒美にこのカブトムシをあげよう（それはリカルド）。

「どうぶつの森」のネタだと断っておかないと1年後にはもう忘れていそうですね…。

配られたメディア同意書を書き書きして待ちます。

9時10分過ぎチェック済パックの袋が配られました。この時点で勝負が半分決まったようなものですね。

ではそろそろスマホの電源を切ります。バイなしも構築開始。



まずはパックを開け、チェック済のリストと実際のカードが一致しているかの照合を行ったのち、構築開始。

まずはレアチェックから。

緑のただつよの恐竜レアが3枚。こんなの誰が見ても緑で組むべきなプールであったわけなのですが、どうも緑のアンコモンとコモンの層が薄い。そして恐竜といえばまずはナヤカラーということで白緑・赤緑・白赤緑と眺めてみても、これまた恐竜とのシナジのパーツが薄く、除去も薄い（赤の単体除去は2枚と

《軍団の上陸》
《絶滅の星》
《殺戮の暴君》
《貪る死肉あさり》
《切り裂き顎の猛竜》
《鉄面提督ベケット》

取りレア

神話の全体除去が1枚、そして白と緑の除去はゼロ！)。あるいはこれは**罨かもしれない**と考えて、赤緑で組んでみたデッキをいったん横に置く。

そして青黒をチェック。さすがにベケット提督は入らないものの《海賊のカットラス》が3枚と優秀な軽量除去の《弱者成敗》が3枚というコモンのプールと《軍団の上陸》に引かれて白黒の吸血鬼を検討すると、これがそこそこにパーツが揃っていた感じに見えたので組んでみました。

うん、**デッキが2個**できました（この時点でダメなんですけど…）。

どっちにしようかなと考えて、やっぱり**軽いのは正義**ということで思って白黒デッキを登録し、赤緑恐竜はサイドに準備しました。

サイド交換というレベルではないので、この際だからデッキを2つ別のスリーブに入れて丸ごと交換するスタイルにしました。まあ相手にはバレバレなんですけど。10時には構築を終了。さてどうなるかなー。

しかし今から考えれば、これはどう見ても正解は**黒緑**だったようにしか思えません。これに即座に気がつかなかった時点で、今回はダメでしよな感じです。

本戦開始

Round1 BYE

Round2 BYE

3回戦が始まる前に、自分のペアリングが掲示される場所を確認したり、施設内にあったATMで上限のSGD 300をおろしたりして待ちます。

そして正午になる頃に、3回戦のペアリングが発表されました。いよいよ自分の戦いの開始です。

Round3 イケダさん 赤緑→白赤緑 O×O

国籍は台湾でしたけど日本人のお名前です、普通に日本語ができる日本人の方でした。

最後は相手の土地が3枚で止まっていた事故勝ち。

この時点では「お、あるいはこのデッキでもいけるかも」と思いました。



しかし実のところ誘発忘れを2回もしていてダメダメ感。《軍団の上陸》を出した時に1/1吸血鬼トークンを出すのと戦闘開始時に《選定された助祭》で+2/+0を乗せるのを1回忘れた。どちらも基本ですよこんなの。

ていうか、ただの事故勝ちとはいえ、よく勝てたな…。

昼食は駅前のセブンイレブンで買っておいだしたサンドイッチ。

パンに耳がついたままなんですね。別に構わないし、うんおいしいですねmgmg。

Round4 Lawさん 青黒赤 ××

3-0なので18番テーブルでしたが、ここからは下がる一方でしょう。

G1 クリーチャーを2枚しか引かない事故で終了。

G2 相手がゆっくりに見えなくもなかったので恐竜デッキにチェンジして試すと土地事故。まあ回らなければ何をやってもダメ。とはいえデッキ交換には及ばないかな、やっぱ。

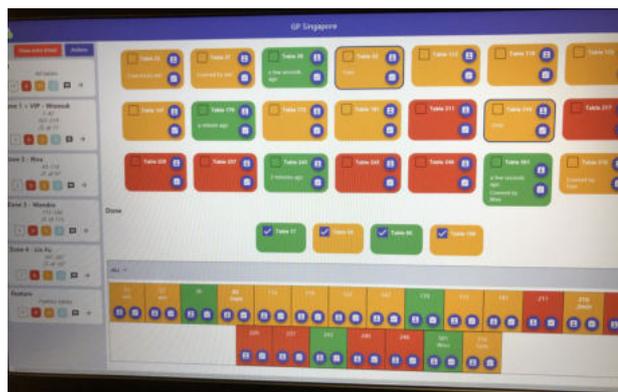
待ち時間にツイッターを覗く。どうやらたっちは会場に1時間ほどしか居らず、すでに観光に向かっていた模様。まあ、GPとのつきあいかたも、人それぞれ。

スコアキーパーの新兵器

今回の GP ではツイッターに画面写真が流れるなりジャッジの間で話題騒然になったソフトが登場しました。

マジックの大会では、すべての対戦結果が入力されない限り次のラウンドに進めないことから、まだ結果が入力されていないテーブルの情報を管理するのはとても重要なことです。通常は、

提出された紙の結果登録用紙をスコアキーパーが入力済である場合は「未記録＝対戦中」を示すことからラウンドの終盤になるとフロアジャッジはスコアキーパーから未記録のテーブル番号を受け取り、そのテーブルに行って対戦中であることを確認して、ラウンド終了直前になるとそのテーブルの横に座って終了するなり結果登録用紙を回収できるようにします。



たまに、記入を終えた結果登録用紙がテーブルの上に置き放しになっているのを回収したりもします。まれにテーブルの上に結果登録用紙が置いてないのに未記録であることがあり、この場合には大問題なのでジャッジが総出ですでに提出されていないか確認をしたりします。

GP の規模では、スコアキーパーとは別の人間 1 名が「未記録テーブル番号」のリストを管理してジャッジに指示を出し未記録テーブルをゼロにする作業に専念するのが普通です。そしてこれはこれまでは基本的に紙ベースでテーブル管理を行っておりました。

なのですが、このソフトはどうやら、スコアキーパーの記録と連携して未記録テーブルの状態を表示するようなものようでした。すごい！技術は進歩しますね！

これは是非とも日本の GP でも採用されて欲しいものですね。

本戦負け続け

Round5 Hamida さん 青緑 ×O×

G1 土地が沼沼沼、フィルタ、の4枚で止まって白をなかなか出せずテンポが遅くて負け。

G2 向こうをライフ1の状態まで追い込んで（こちらライフ17）、勝ったなと思ったらお互い場をまっさらにして手札を使い切った状態になり、しばらく双方ドロゴを数ターンやる羽目になりました。でもさすがに勝てました。

G3 土地が3枚で止まる。何とか殴り合いでライフ4まで追い込むがさすがに負けた。

Round6 Ramadiさん 白黒 O××

同型。パーツも似たような感じ。

双方殴りあうしかない展開であるものの、全般に除去やライフ回復などの有効打を引かずに負け。最後のゲームは惨敗。これで3-3。今回はさすがにダメそうです。

トイレでトモハルさんと挨拶を交わす。状況を伺ったらここまで6-0で早くも通過を決めたそうだったので「それでは引き続き今日の残りと明日も頑張ってください」と伝える。

その後トモハルさんは本日9-0でトップ通過しました。そして2日目でも決勝ドラフトに進出してトップ4に入りました。すごーい！

Round7 Dingさん 白赤緑 ××

G1 殴りあうが、打点が薄い。

G2 沼沼で手札キープしたら、その後に沼を引いて、しかもそこで土地が止まった。除去などでしばらくしのぐも、こちらの手札の白は腐り、相手は土地を置き続けて順調に展開を続ける。4枚目に引いた土地も沼だったところで投了。その後ライブラリーのトップを見たら、その次からは3連続で平地でした。だめだこりゃ（笑）。

これで早くも3-4で2日目への不通過が確定。

時間は16時40分。まだ急げば17時からのリバウンドシールドの参加にも間に合ったものの、いまさらSGD35を払って普通のシールドをやるよりは、引き続いての「勝てばPWP24点」を続けることにしました。明日はシールドとドラフトで夜まで遊んでからカジノかな。月曜の観光予定は決めてないけど、カジノで夜更かしもありかもしれません。

Round8 Siamさん 青黒 ××

一方的に展開され続けて負け負け。

相手は《風と共に》を少なくとも2枚持ち、そしてこちらの除去に対しては《潜水》でかわすというセオリー通りの運用。

Round9 Yiiさん 黒赤 ××

小競り合いを続けるものの、全般に引きが悪くて負け。

なお対戦が終わった後で来ていたQJが相手に声をかけたため判明したのですが、対戦相手の方はマレーシアのレベル1ジャッジで、QJとも友達でした。

最後までいいとこなしの3-6。人間に勝てたのは1回でそれも事故勝ち。

明らかな構築ミスとはいえ、ここまで酷い結果だったのは割と初めてかもしれません。

本日の教訓：海賊デッキでないなら《海賊のカットラス》3本はいりません。

出すなり装備できる海賊デッキなら別ですが、そうでないとテンポがかなり悪いので2本目や3本目を展開するよりも手札に腐って負けです。

途中からコレに気がついて、毎回2ゲーム目には《啓蒙》にサイドチェンジしてました。まあ啓蒙は啓蒙でたまに相手が何もエンチャントを使っていないと腐りますが。

明日の夜のプランを検討

明日の夜と月曜日の予定を考えながら19時に会場を離脱。途中の展示場でまだ開いていた新古書市を覗いてみましたが、特に買った本はありません。

カジノについては調べてみてテーブルのミニマムがSGD 20であるのに躊躇したうえ、さらに

シンガポールのドレスコードではカジノは**短パン禁止**と知ってパスすることに決定。

スロットで千円するだけのために、わざわざズボンを買っていくほどのこともなく。

となると明日の夜はどうしたものか…まあ21時頃まで会場に居るようなら、そのまま帰って寝る

だけでもいいのですが（笑）。

あるいは「ナイト・サファリ」というのも面白そうかとも思うも「最寄りの地下鉄駅からバスで40分」というのを読んで検討中止。

基本シンガポールのお勧め「ナイト・スポット」というのは、どうもバーとかクラブとかの類の、若い娘を連れていくでもない男1人では厳しめの場所であろう模様。さてどうしたものか。あるいは昨日公開された「スターウォーズ 最後のジェダイ」を観に行くというプランもマジでありかもしれない、とか考えました。日本に帰って観られるのはあと2週間ほど後なので。

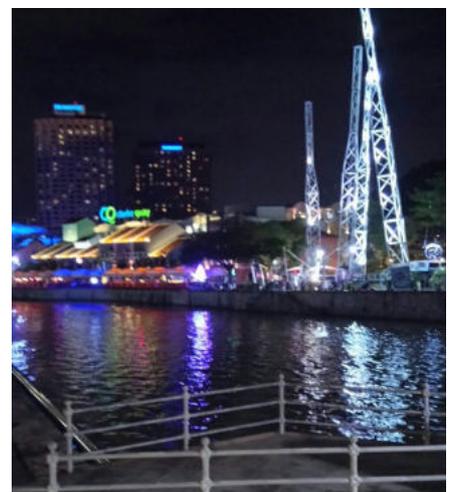
また月曜日はQJが教えてくれた「ジャッジ・カンファレンス」に参加するのもありかもしれないなと思いましたが、でも特に予約もしてなかったから、行ってもジャッジファイルは貰えないんだよね…。基本、英語だけのセッションに参加するのは辛めだろうし。

クラーク・キーに移動

今夜の夕食はフーターズと決めていたので、事前に調べていた店までの移動経路を確認する。最寄り駅のクラーク・キー（Clarke Quay）までSGD 2.3。そしてエキスポ駅からクラーク・キーまではダウンタウン線をチャイナタウンで乗り換えれば1回乗り換えで済む。これだな。そのクラーク・キー自体も観光ガイドのお勧めスポットとして名前を見たので、フーターズ後にぶらぶら歩くのも多分ありだろう。切符を買ってダウンタウン線のホームに移動し、乗車。

改めてグーグルで調べた所、シンガポールにはフーターズは複数あることが判明。しかも1軒はラッフルズ駅のそばで、どうも地図を見た限りでは、昨日の朝マーライオン公園からGBTBに移動する途中ですぐ横を通っていたことが判明（笑）。まああの時間では閉店していたでしょうけど。

20時、チャイナタウン（Chinatown）駅で北東線（North East Line）に乗り換え。乗り換えナシとはいえ16駅。





けっこうありました。そしてほどなく隣のクラーク・キー駅に到着。

グーグルマップを頼りに地上に出て橋を渡ります。あのキンキラの一角がクラーク・キーかな。そしてあの中にフーターズもあるはず。

これがクラーク・キーかあ。

なるほどこれは夜に来るべきプレイスポットですね。

もっとも見る限りバーとかクラブばかりのようでしたが。

フーターズで夕食

そしてクラーク・キーを奥に進んで、ほどなくフーターズを発見。さっそく入ります。

案内された席に座り、まずはコーラを頼んだのちメニューを見て料理を検討。

ハンバーガーが旨そうでしたが、昨日のバーガーキングを思い出したことから「シェフのおすすめハニーマスタードチキン」を注文。SGD 23.9。



店内は落ち着いた雰囲気音楽が流れています。いちおうはスポーツ中継も流れているものの、ボリュームも下げております。

そして**おっぱい成分が少ない**。一応はいつもの格好のウェイトレスは2~3人はいるものの、テーブルごとにつくシステムでもなく単に給仕をするだけの模様。

ダンスタイムのある雰囲気でもない。これでは、ただのおしゃれなアメリカン・レストランではないか。

そして男子トイレに入ってさらに深い絶望。

フーターズのトイレといえば、フーターズ・マガジンのバックナンバーの表紙が壁に貼ってあるもんだろ！

だめだ、ここは僕が来るべき店ではなかった。

男子の欲望を解放しようという気概も何もない。

頼んだ料理を食べてマグカップを買ったら帰ろう…。



15分ほどして料理が到着。

もぐもぐ。うん、料理は美味しいや。

ステーキと言っても良いくらいの大きさのチキン2枚。意外と量のある野菜と大きいトマト。丸々じゃが一個使っているらしいマスタード味付けの柔らかいポテト。

ポテトはどろどろにペースト状に煮込んであり、すくって食べる。うん、これは美味しい面白い。意外と大きいので穀物分はこれで十分だな。ライスとかパンを追加で頼まないで良かった。

トマトもピクルスも、鶏肉の脂っこさとよく合っている。

何も文句のない味だ。ゆっくり料理を楽しみつつ完食。満腹。

食後に、夜の薬と飲み忘れた朝の薬をコーラで飲む。

物販コーナーでマグカップとトランプも買う。

ダンスタイムがある気配はまったくなかったので、21時に退店。

グッズと合わせてSGD 60ほどになった。まあそんなもんだらう。

クラーク・キーを散歩

食後、何か面白いものでもないかなとクラーク・キーを散歩。

とはいうものの基本、やはりレストランやバーがいっぱい並んでいるだけなのですが…。あとは土産物の露店が並んでいるくらいでしょうか。

何やら音楽をかけて歌って踊っている人がいました。凄い人ばかりができていて、広くない通路がなかなか通れない状態に。

まあ、多くの方は僕のようにカメラを構えていただけではあるのですが。

気温表示があつたので見ると26度。暑いわけですね。日本では皆が凍えています。シンガポールは赤道直下。

…しばらくぶらぶら歩いても、土産物屋と飲食店しかやはり無いようでした。

基本はリバーサイドのデートスポットではありますが、これ以上は自分が粘っても仕方ないようなので帰ることにしました。

来た所とは別の橋を渡って退出。橋の上にも音楽を鳴らしていたりのパフォーマーがいました。



ゲイランをもうひと歩きして戻る

クラーク・キー駅からはアウトラム・パーク (Outram Park) 駅で東西線に乗り換えたうえで、トータル30分ほどでアルジュネ駅に到着。

ホテルに戻る前に、再度ゲイランロードを端から端まで歩いて、今度は通りから横道に入ったりもしてみたのですが、足マッサージ屋をみかけたくらいで、コレと言った風俗店は発見できず。

なぜか**床屋**は20軒はある勢いで大量に存在するのですが、これも入口におねーちゃんが座っている台北の「床屋」とは違って、これもどう見ても単なる本当の床屋でしかなく、客が頭を刈られているだけの様子が外から丸見えだったりします。謎。

結局、1時間ほど歩いてもやはり収穫はなく、アイスとお菓子を買ってホテルに帰投しました。部屋でシャワーを浴び、フーターズのグッズなどを眺めたりすると今日は終了です。

ではあとは本日のマジック日記でも書こうかな…と思ってPCを起動するも、割とさんざんだった内容に「明日でいいか」と思い直し、睡魔に従って零時半には就寝。

2017年12月17日（日） 朝の日記書き

早寝が幸いして、6時にすっきり目が覚める。

本日は9時45分までにBig Prize Shield（スイス5回戦）にエントリーして、あとはドラフト。

ドラフトは18時30分に受付終了だから、まあ1~3回はできるよね。結局、カジノを止めても夜のプランはないので、ドラフトが終わるタイミングにもよるが、帰って終了でもいいと思う。

逆算すると8時過ぎにホテルを出て朝食と移動かな。あと2時間。昨日の日記を書いてしまおう。

ちなみに冷房の効いた部屋で1日座り対戦を重ねているのと、何だかんだで結構歩き回っているので足だけでなく、いささか腰も痛い。まだ歩けないほどではないのだが。

今夜、昨夜発見したゲイランのマッサージ屋(エロ系ではなさそう)のお世話になるのもありかもしれないと思ったが、1時間千円のミャンマー相場に慣れると30分1500円とか言われるとその。

よし昨日のプレイ日記（とほほ）は書いた。構築したシールドデッキリストは記録していないけど、デッキのカードを分けて箱に入れておけば後からでも書けるよね。そもそも1-6したリストなど

記録するには及ばないかもしれない（涙）。

そしてそのように分けておいた本戦シールドデッキ2個は、翌日の出発前の荷物整理の際に、誤ってコモンカードを捨ててしまったため再現できない状態になってしまいました。本書中に本戦デッキが掲載されていないのはそういう理由です。まあ記録しなくて良い内容ですけど。

駅前で朝食

ゆるゆる支度して8時前にはホテルを出て駅までてくてく歩きます。

駅前の昨日の店で餃子麺を頼もうかなと思ったのですが開いていませんでした。日曜だからかな。その隣の店で済ませることにします。





スタンドの中の料理を適当に指さして選びます。麻婆豆腐らしいものと、春巻らしいもの、あと野菜も頼みました。

これで SGD 2.8 の庶民めしです。

春巻らしかったのは練り物でした。ちくわ？
ま、OK でしょう。

普通に食べていたらオバチャンが飲み物を勧めてきたので応じてコーラを注文。SGD1.6 です。当然普通に買うよりはいささか割高ですが、まあ氷代とサービス代ですね。

つけあわせのつもりで注文した野菜に濃い味付けがしてあってご飯に合います。その一方でメイン期待の麻婆豆腐は薄い味付けで、あまりご飯に合いません。主客転倒の誤算。まあ、無問題ですが。

完食しました。おいしい。

いやまあ、**皿に書いてあった文字**を読んだだけでw
でもまあ値段的に納得の SGD 2.8 (+コーラ SGD 1.6) でした。
朝の薬をコーラで流し込んで 8 時半、朝食終了。



会場に移動

では会場まで MRT で移動しよう、と思って駅で自販機にカードを置くと「このカードは使用できません」との表示。なるほど、この切符カードは 6 回使ったら 10 セント還元されるだけでなく、6 回で使い捨てて新しいカードを買う必要があるのですね。なるほど確かにもう 6 回乗ってるな。いずれにせよ無問題で、普通に現金を入れて新規の切符カードを購入して乗車。

タナ・メラ駅で乗り換えて、9 時にはエキスポ駅に到着。

例によって、エキスポ駅前のセブンイレブンで昼食と飲み物を購入することにします。

昼食のカツサンドとペットボトルのジュースで SGD 4.8。

シンガポールのペットボトルは普通 SGD 2.5 くらいするのですが、セブンイレブンがセールをやっていたらしく、このジュースがほぼ半額の SGD 1.3 だったので、以後はシンガポールではセブンイレブンに入ったらこればかり探して飲むようにして、滞在中の飲料は済ませていました。あと、レジ袋を頼むと 10 セント取られます（これは仕方ないですね）。

9時過ぎに会場に入場。ちょうど本戦 2 日目のプレイヤーミーティングが始まったようで、マイクによるアナウンスをしています。

自分はまず Big Prize Point シールドにエントリー（SGD 60）します。そしてあとは 1 時間ほど待つだけなので、適当な空いている所に座ります。



近くの PTQ ドミナリアの所にいた QJ が耳打ちしてくれたのですが、何でも今回、本戦 2 日目と PTQ の両方の開始時間を同じ時刻の 9 時に設定してしまったため PTQ のアナウンスにマイクを使用することができず、リッカルドが多くのプレイヤーに対して生声でアナウンスした模様。その本戦はすでにドラフトコールが始まっています。そしてドラフトコールが終わったらマイクの全体アナウンスが再度リッカルドに変わりました。働き者だなリッカルド。ではこのブラックバスをあげよう（だから、ぶつ森ネタはやめろと）。

Big Prize Point シールドに参加

座って今夜の夕食の予定を検討（安い中華飯も少々飽きてきたので、ココイチにするか、KFC にするかなど）しているうちに、自分の開始時間になりました。

Big Prize Point シールドへの参加者はたったの 18 人。かろうじて 5 回戦が成立です。おそらく 1 勝もできなくても BYE で賞品ポイントがつくでしょう（笑）。もちろん 5-0 を狙いますが、本戦用の余りであるチェック済のバックリストが配られました。さて今日は良いプールを引いて、善戦できるかなー。答えはまもなく。

まずはレアチェック。

レアの枚数的には黒だが、明らかにパワーのあるのはファートリなので恐竜で組むことに。ただし白のパーツが弱いので、赤緑のタッチ白で行く。まあ、5 マナ域までに白が出せればいいです。ただ恐竜は恐竜にしても、強いレア恐竜は居ないしコモン主力の《輝くエアロサウルス》とか《猛竜の群れ》とか《太陽冠のハンター》とか《巨大な戦慄大口》とかも居ないありさまで、普段は鼻もひっかけない《棘尾ケラトプス》まで入れる始末。もしかして

そもそも恐竜にしないほうが良いのではと思える勢い。

《川の叱責》
《巧射艦隊の追跡者》
《聖域探査者》
《アングラスの匪賊》 (Foil)
《絶滅の星》
《戦場の詩人、ファートリ》
《竜鬚の山頂》

取りレア

Creatures: 15	Spells: 9	Lands: 16
《深海艦隊の扇動者》	《稲妻の一撃》	《平地》 * 2
《巢荒らし》	《火炎砲発射》 * 2	《山》 * 8
《ティロナーリの騎士》	《新たな地平》	《森》 * 6
《ずる賢いゴブリン》	《凶暴な踏みつけ》	
《イクサーリのト占師》	《崇高な阻止》	
《イクサーリの守り手》	《決別の砲撃》	
《激情の猛竜》	《戦場の詩人、ファートリ》	
《貪欲な短剣歯》	《絶滅の星》	
《不動のアルマサウルス》		
《葉を食む鞭尾》		
《風雲艦隊の放火魔》		
《棘尾ケラトプス》		
《吠えるイージサウルス》		
《轟く棘背びれ》		
《アングラスの匪賊》		

構築デッキ

Round1 Engさん 白赤緑 ×O×

相手は2分遅刻したけど、ルール適用度一般なのでまーぺんらい。

G1 マナフラで負け。重い呪文を引けばまだ何とかなったんだけど…。

G2 相手のマリガンに乗じて、回って勝ち。

G3 回らず負け。

誤って自分のカードを捨てる

負けた1回戦中に、さっそく自分の「本日のやらかし案件」に気がつきました。

自分はGPなどで机の上とかに放置されたアンコモンは積極的に回収するのですが、ブレイドのコモンは自分でも捨てるので、荷物を減らしたい自分は構築の終了後にメインやサイドにも入らなかったコモンをより分けて、トイレに行ったときにゴミ箱にぼいっと投げ捨てました。

ところが1回戦の最中に、サイドボードを交換しようとしてデッキ箱を探すと…ない。どうやら、間違ってサイド用のコモンも**一緒にポイ捨て**してしまったようでした（笑）

ちなみに捨てたカードと同じカードをその後でランドステーションの所の箱の中に発見できたのですが、これを投入するのは「リミテッド規定違反」と判断されましたので入れませんでした。

イベント規定 7.2 リミテッドのイベントでのカードの使用（抜粋）

開かれたブースターのエキスパンションに含まれるカード（そしてそのプレイヤーのカード・プールで開封され、あるいはピックされたカード）だけがそのプレイヤーのデッキで使ってもよいカードである。

あるいは「もしかしてヘッドジャッジに許可を得れば代用カード扱いで入れられるのでは？」と一瞬考えましたが、やはり明確にダメでした（そもそも許可される理由がありません）。

イベント規定 3.4 代用カード（抜粋）

…の代用として、ヘッドジャッジの判断により代用カードを使う。カードのオーナーが故意あるいは過失によって破損させたカードに代用カードを発行してはならない。

これでサイドボードの交換もできなくなったので、ただでさえ弱そうなデッキの勝率がより一層下がったように思えます（笑）。まあ、ダメなときは何をやってもダメ。

Big Prize Point ゲットだぜ！

ちなみに参加者がたった 18 名なのでペアリング等の掲示はこのように端の机に置かれました。もはや貼り出しすら行われません（笑）



Round2 Fooさん 白黒 ×OO

G1 除去などされまくって負け

G2 押されつつ、相手がライフ 15 の所で《アンガラスの匪賊》を置いて殴って一気に 12 点をもぎ取った。惜しくも即死させ損ねるも相手の攻勢は止まり（どうでもいい奴との相打ちを取られるため）、その後 6 点回復されたものの、匪賊が除去されなかったので勝ち。

G3 回って勝ち。

Round3 Mohdさん 白黒 O××

G1 まあ殴り勝ち。

G2 基本的には押され続けの劣勢だったものの、何とか 7 マナに達したので《絶滅の星》を唱え全部流します。しかしそれから双方がクリーチャーを置いたり、それを除去したりしているうちに手札を使い切ってドローゴーを重ねる展開で負け。正直、負けただけ面白かったです。

G3 残念。

3 回戦が終わると 13 時を回りましたので、朝買っておいた昼食にしました。急いで 10 分で食べました。もぐもぐ。



Round4 Fuleさん 白赤緑 OO

G1 後手の相手が 2 ターン目に《猛竜の相棒》を出し、さらに 3 ターン目に探険クリーチャーを出してトップをめくると《海賊のカットラス》。そしてこの時点でこちらのクリーチャーがゼロ。正直なところ死を覚悟したのですが、しかしその後、こちらは順調に伸び、何よりも

相手のマナが4マナで止まったので海賊でない相手は「カトラスを出し装備して殴る」ができず。その後やむなく1ターンをカトラスを出すだけにしたりするも、やはりテンポの悪さは否めません。勝ちました。

G2 相手の事故で勝ち。

これで2-2。当初の目標は達成しました。

そして何げに獲得賞品を再確認すると、3勝（9点）すると180ポイントが貰えるものの、2勝（3〜7点）止まりだと50ポイントしか貰えません。ちなみに180ポイントだと「いいプレイマットが貰える」くらいの感じで3〜4千円の価値は見えていいものです。を、これは次に勝ちたいですね。さてどうなるかなー。

Round5 NO SHOW

…開始時に対戦相手のジェームスンさんが来ていません。

マイクのアナウンスで2回呼び出しても来ません。

正直なところ「…うん、このまま来ないといいな」とちょっとだけ思いました（笑）。

配られた結果登録用紙を確認すると、下当たりの自分の対戦相手は1勝しかしていなかったの、次に勝っても負けても賞品は変わらず。ああこりゃ来ないかなと思うも、4ラウンドの終了時にドロップしないでくれてありがとうジェームスンさん（笑）。

ただし自分の下の最後卓では3点と1点（やはり下当たり）が対戦しているので、仮にこの人がドロップしていたら、自分はこの3点の方と対戦することになったろうなとは思われます。

その場合は、多分こちらは「そちらは勝っても賞品は変わらないので、何かの見返りを約束することはできませんが（贈賄で失格する）勝ちを譲ってくれませんか？」とお願いするつもりではありました。とはいえ相手がそれに応じてくれるかは相手の**機嫌次第**にはなります。

とか考えているうちに10分が経過して、自分の不戦勝が確定。3-2で180ポイントを獲得。

やったぜ。7マナで《アンガラスの匪賊》を出すか《絶滅の星》で全部を流してから本気を出すダメダメデッキの割にはなんとかなりました。あと最高殊勲賞は《ずる賢いゴブリン》でした。色事故の回避とマナ加速にこいつは本当に使える奴でした。正直、前は入れてませんでした。

イクサラン ドラフト ポッド6

《穢れを灰に》

取りレア

まだ14時半。さっそくドラフトにエントリーし（最後のバウチャーSGD 11を使用）、5分で成立しました。

1-1 ダメなレアを流して《闇の滋養》を取り、黒スタート。

1-2 《饗宴への召集》を取り、白黒吸血鬼に決め打ち。

2-1 も3-1 も取りたいレアは引けませんでした。残念。下のほうで《穢れを灰に》を拾ったも、吸血鬼デッキですら入らない残念レア。とはいえデッキは軽くていい感じ。さてどうかな。

Creatures: 16

《立ち枯れの守り手》
《敵意ある征服者》
《アダントの先兵》
《司教の兵士》
《帆風の掠め盗り》* 2
《探求者の従者》
《指名手配の獄道者》
《軍団の征服者》* 2
《縄張り持ちの槌頭》
《深海艦隊の殺し屋》* 2
《饗宴への召集》
《薄暮の賛美者》
《選定された助祭》

Spells: 9

《鉤爪の切りつけ》
《吸血鬼の士気》
《板歩きの刑》
《軍団の裁き》
《無情な略奪》
《闇の滋養》* 2
《吸血鬼の印》

Lands: 16

《未知の岸》
《平地》* 7
《沼》* 8

構築デッキ

Round1 Theronさん 青緑 O×O

G1 順調に展開できて勝ち。

G2 まあ負け。

G3 まあ勝ち。強いマーフォークではなかった。

Round2 Yeoさん 白赤 O×O

G1 まあ勝ち。

G2 ブロッカーも用意できず《猛竜の相棒》に3回くらい殴られるダメぶりで負け。

G3 押されているのをライフ回復でしのぎつつ《薄暮の賛美者》で空から殴ってフィニッシュ。

Round3 Yuoさん 青黒赤 ××

ここまで2-0してきた相手は普通に強かったです。書くべきこともなく押され続けて負け。

時間は17時過ぎ。エントリーは18時半までだから、次が最後のドラフトかな。さ、次いこ次。

イクサラン ドラフト ポッド10

ほどなく17時過ぎに成立。

1-1 どうでもいいレアとアンコモンを流して《海賊のカットラス》を拾う。今回も海賊でいいや。

1-2 《無法の物あさり》で青赤海賊を視野に入れるも、赤が流れてこないで青黒海賊で。

2-1 《遺跡の略奪者》。ボブ海賊は方針とバッチリ合っていたので、喜んで取ります。

2-2 《軍団の上陸》は、たいしたパーツが流れてこなかったのでカットの意味でも取ります。

3-1 《ヴラスカの侮辱》のFoil。万能除去。お値段もそこそこいい。喜んで即取り。

《軍団の上陸》
《遺跡の略奪者》
《ヴラスカの侮辱》 (Foil)

取りレア

Creatures: 16

《セイレーンの嵐鎮め》
《難破船あさり》 * 2
《自暴自棄の漂流者》 * 2
《指名手配の獄道者》
《財力ある船乗り》
《セイレーンの見張り番》
《巧射艦隊の拷問者》
《遺跡の略奪者》
《無情な無頼漢》
《巧射艦隊の操舵手》
《大嵐呼び》
《深海艦隊の殺し屋》 * 2
《風を跨ぐ者》

Spells: 8

《風と共に》 * 2
《欲望の深み》
《弱者成敗》
《海賊のカットラス》
《吸血鬼の印》
《ヴラスカの侮辱》
《依頼殺人》

Lands: 16

《島》 * 7
《沼》 * 9

Sideboard:

《強迫》

構築デッキ

いい感じ。これは期待できるかな？

Round1 Yewさん 白黒 ×OO

「早く終わったら負けてもあと1回ドラフトできるからすぐやりましょう」とせかすも相手にはあまりその気はなかった模様。

G1 順調に押され押され負け。

G2 一方的に押し勝ち。

G3 一方的に押し勝ち。《セイレーンの見張り番》に《吸血鬼の印》を貼ったうえで《海賊のカットラス》を装備させて空から殴って6点と6点回復とかいう酷いこともしました。

回って勝ち。これで自分はあと1回か2回戦って今日は終了。

ちなみに3ゲームの結果、終了時は18:25でしたが相手は特に次にエントリーすることもなく。

Round2 Yeoさん 青黒赤 OO

G1 相手先手マリガンに乗じて勝ち。

G2 ブン回って勝ち。

を、やったねこれで今回も決勝に進出。

ただしもう1組はまだ終わっていない。ていうか横で見ていると結構、プレイが遅い。

プライズのプレイマットを先取り

対戦相手が決まるのを待つ時間に、金曜の結果と合わせてのプライズ計算をする。

ここままで340ポイント、次に負ければ420ポイント、勝てば460ポイントかな。

席を立ちプライズウォールを覗きに行くと、人気のOpal Moxのプレイマット（200ポイント）や自分が持ってないGP マニラのプレイマット（150ポイント）が取れることを知る。勝っても500ポイントいかない以上、次に勝っても他に欲しいものはないことから、とりあえず品切れの可能性もあるOpal Moxのプレイマットだけでも取っておくか…と思いレジへ。

照合をすると「いま 390 ポイントありますね」とのこと。なら Opal Mox と GP マニラが取れるじゃん、と喜んで取る。この時点で自分が**計算ミス**しているのをきれいに忘れてます。つまりこれ次で勝てば 500 ポイントを超えることを意味するわけなのですが（笑）。そのことに気が付いたのはポイント交換後なので、もう遅い。ちなみに 500 ポイントだとコマンダー・アンソロジーとかプレインチェイス・アンソロジーとか FtV:Angel などの 1 万円を超える商品が貰えました。まあ、これらは自分にはさほど興味はないんですけど。ともあれこれで残ポイントは、次で負ければ 120 ポイント。勝てば 160 ポイントになりました。…スカイソブリンのプレイマット（100 ポイント）と、2 パックか 6 パックを貰って帰ろうっと。

ジャッジコール発生

席に戻って隣の観戦。青緑のマーフォークと赤緑の恐竜が 1-1 で 3 回戦目。正直、恐竜に勝って欲しかったと思いました。相性としては。

ここでマーフォーク側のプレイヤーが、自分が第 1 メインフェイズにマーフォークを出したのに《深根の水域》の誘発で 1/1 マーフォークのトークンを出すのを忘れたのに、戦闘終了後に気が付いたため、それを認める認めないで揉めます。

自分もそれを見ていたので、即座に自分がジャッジコールします。口コが来ました。

来た口コにうっかり自分が「誘発忘れ」と言ったのを恐竜側プレイヤーに「いやそれ自分たちで説明するから」と言われたので黙って見守ることにしました。

誘発を忘れたプレイヤーは、それを取り繕うためか「さっきブロックで死んだトークンカードをうっかりプレイマットの外でなく端に置いていたので、それを出していたのと誤認したようだ」みたいなことを言ったので横で「おいおい下手に繕って嘘をついたりすると失格もあるよ？」とハラハラしながらやりとりを眺めます。

何度かプレイヤーがそれを繰り返すのを、口コはぴしっと「いやそれは関係ないから。要は君が出すのを忘れたんだよね？」と確認を求めて、相手の「はい」を確認して「よし、今後はプレイマットの外に置こうね」とも加える。

そしてその後で「では裁定を出します。これはルール適用度一般なので、ゲームをあるべき姿に

戻します。すなわち 1/1 トークンを出してください」とプレイヤーに宣言します。

今度はその時点で劣勢であった恐竜側プレイヤーが不満をこぼしたが、ロコは「ルール適用度が競技なら君の言う通り君が解決するかしないかを選べるがこれは一般です」と言って納得させて終了。ゲームはそのまま継続。かっこいいぜロコ。惚れちゃいそう。

そしてマーフォーク側プレイヤーが勝利しました。自分の決勝相手です。

Round3 Marlonさん 青緑 xOx

G1 順調に展開されて負け。《セイレーンの嵐鎮め》も速攻で除去されました。

G2 やはりサイドの《強迫》を入れます。相手は《深根の水域》を貼ることに成功しての 1/1 トークン量産体制に入り、ドヤ顔をしてこちらを殴ってきてクロックを稼ぐものの、相手のライフが 7 になり土地がフルタップになった所を確認して《大嵐呼び》を出して殴り勝ち。

G3 殴り合いのすえに、負け。ていうか自分が《弱者成敗》を打つときに、相手の戦場に居た《勇敢な妨害作業員》でなくて殴りに行くのに邪魔だった《財力ある船乗り》のほうを除去するという信じられないような判断ミスをしたのが致命傷。結局、その後も何度か《勇敢な妨害作業員》で殴られて手札をルートされての負けでした。馬鹿ですね俺。

プライズウォールで、スカイソプリンのプレイマットとイクサラン 2 パックを貰って終了。

スマホを落として割る

20 時半に終了して会場を離脱する。夕食はココイチかなと思ったものの、ココイチのラッフルズ支店の閉店は 22 時なので、ギリギリでアウトの可能性。このためプランを 23 時までやっている KFC に変更。マキノさんのお勧めの KFC シンガポール店のチキン丼とは、いかなるものかな。

KFC の店舗を調べると、環状線のマウントバッテン (Mountbatten) 駅のそばにある。そしてここはどうやら、自分のホテルまで歩いて行けそうな距離だ。これだな。

駅で切符 (SGD 2) を買い、さて乗るか…と思ったところでうっかりスマホを落としてしまい、そして当たり所が悪かったため画面が割れてヒビが入ってしまった。しょぼん。一応まだ操作は可能だが、触っていると指先に細かいガラス片がついて指先が痛い。買い替えるしかないよな…。

まあ買い替えの検討はあとでやるとして、とりあえず移動。
MRT をエキスポ駅からタナ・メラー駅で東西線に乗り換え、
さらにパーヤ・レイバー駅で環状線に乗り換えて2 駅。

シンガポールの地下鉄は通路よりの両座席はぜんぶ優先席
なんですね、とか思いながら乗ります。



KFC でチキン丼



そして 21 時 15 分にマウントバッテン駅で降りて
夜道をグーグルマップを頼りに探すと、ほどなく
発見できました。

ただちに入店して自動販売機でオーダーします。



ライスボウル（丼）というのはチキンカレー丼の1 種類しか
ないので、これに1 本チキンを追加して SGD 7.5。

まあ、お値段はこんなもんでしょうね。いただきます。

…マキノさんが食べたのがコレかどうかは不明なのですが
「ミャンマーのKFC で食べたのと同じ味だな（笑）」と

というのが自分の感想でした。まあ、
安定のKFC の味ですが、わざわざ
来るほどではなかったかも。



ゲイラン通りを歩いてホテルに帰る

食事を終えて KFC を出ると 22 時、あとはホテルに帰るだけです。

グーグルマップを見てスタジアムの近くの夜道を歩きます。まったく知らない夜道をこんな風に歩けるのは、まったくグーグル先生のおかげだなあと思いました。

人通りはほとんどありませんが、時折ジョギングする人も居るので特に不安はありません。

身の危険は感じないものの、実のところシンガポールもこの辺の道路の舗装はかなりいい加減で段差もあり、注意しないとつまずいて転びそう。特に 3 日目になる今夜はかなり足が笑い始めてもいますので、注意してゆっくり歩いて帰ることにしました。

横断歩道のボタンを押さなかったので信号が青に変わらないままで待ってロスタイムをしたり、少しだけ道を迷ったものの、やがて見慣れたゲイラン通りの西端に到着して、スーパーに寄ってから東端のホテルまで戻ると 23 時。結局、今日も 1 時間近く歩いてしまいました。へとへと。

ゲイランの夜遊びスポットを確認

シャワーを浴びるなり寝落ちしてしまい、目が覚めると 1 時半。あれま。PC を起動してネット。それにしてもゲイランを 3 日も歩いた割には置屋の類をまったく発見できなかったな…と思ってふと改めてネットで検索して、真実に気がつきました。

ゲイランの置屋は、ゲイラン通りにあるのではなく、ゲイラン通りから南の横道に入った先にあったのです。地図を見るとその手の店が数十件ほどもあるようで、なかなかの盛況ぶり。自分はホテルの位置からゲイラン通りの北側ばかり歩いていたので見落とししていたのです。あちゃー…なんでやみくもに歩く前に最初にこれを確認しなかったんだ、バカバカ俺の馬鹿、と思いつつ記事を読むと「午前 4 時頃までやっている店もある」とのこと。まだ開いているんだな。

…ここで自分の好奇心を抑えられなくなったため**午前 2 時なのに服を着て出る**ことにしました。そしてネットの情報通りに、18 番通りのあたりを訪れると、なるほどなあ…な感じの光景がそこに。この時間でコレなら、もっと早くなら多分もっと盛況だったんでしょう。

ひやかして入り口から店の中を覗いたり（噂の金魚鉢スタイル）、立ちんぼに声をかけられるも（レディーボーイに声をかけられる経験もしました）、利用するつもりは最初からなかったので、好奇心を満たすことができたことから、そのままホテルに戻っておとなしく就寝。

2017年12月18日（月） 帰国日の朝

7時前に起床。目覚ましはかけなかったが明るくなったら目が覚めた。では活動開始。

本日の予定を確認。基本は17時30分にシンガポール空港を発つことのみ。従って15時半には空港入りで、逆算すると14時半頃まではどこかで遊べます。さてどうしようかな。

しかしながら実のところ、昨日までかなり歩いたこともあって、右足のコンディションに問題があり、具体的には血豆が破れかけていて痛みます。また今日は荷物の全部を持ちながら移動でもあります。このため、残念ですが基本的には長く歩くプランは取れそうにありません。

いずれにせよ朝食前に、昨夜寝落ちしてしまったためにまだ書いていなかった昨日のマジック日記を書きます。その前に昨日のGPの結果を確認。決勝に日本人が3名進んだものの日本人優勝はならず。日本人のベストは、予選2位で準々決勝に進出したトモハルさんでしたか。残念ではありましたが、おめでとうございます。

のんびり昨日のシールド1回ドラフト2回の記事を書きDiaryNoteにあげたら10時。さすがにもう荷造りしてホテルを出ていい時間です。



朝食は餃子麺

荷造りを終えて10時半、チェックアウトして駅前に移動します。歩いていると汗が吹き出す陽気で、上空を飛行機が轟音をたててガンガン通過していきます。

そして駅前の食堂へ。今日は普通にやっていたので予定通りに餃子麺を注文します。SGD 3。

うん、普通に美味しいですねこれは。餃子も麺もスープも、安食堂としては期待を上回る味です。

この店は当たりでしたね。挽肉がたっぷり入った水餃子が5個も入っていました。幸せ。

次にシンガポールに来るときも多分ゲイランの安宿に泊まるだろうから、鼻肩にしようっと。

食事をしながらこれからの予定を確認。
足のコンディションを考えると歩くのは
控え目にし、昼飯のココイチは食べたい。



すでに 11 時でもあることを考えると、
これはもうココイチのあるラッフルズ・
シティに移動して、そこで昼食を含めて

14 時頃までのんびり過ごしてから空港に行って終了でいいかな、というプランにする。

今日のほぼ 1 日を観光日に使うことができた割にはしょぼいプランではあるものの、歩けないの
では残念だが仕方がない。

タクシーでラッフルズ・シティへ



食事をしつつラッフルズ・シティの位置を確認するも、
ここでグーグルマップを見間違えラッフルズ・シティ
の近くにある筈の地下鉄駅を発見できない（実際には、
建物と地下鉄駅が重なっていました）。

なるべく歩きたくなかったので、いっそタクシーを
拾って移動することを思いつき、そのようにしました。
地下鉄 4 駅だから、そんなに高くはないでしょう。

結局はそのため少し歩き、かつ 1 台目には断られたり
もしたのですが、2 台目のタクシーに乗車。

11 時半にはラッフルズ・シティに到着。料金は SGD
6.55。うんまあ、そんなもんでしょう。OK。

他の観光客と撮影しあいなどしてから、ラッフルズ・
シティに入ります。

ココイチに入る

ラッフルズ・シティ自体は、高そうなブランドショップが並ぶショッピングモールのようにあり、わざわざ見るべきものはない模様。当初は向かいの戦争記念公園とか、その先にあった Otaku House (ただのコスプレ衣装ショップのようなんですが) にも行く予定もあったのですが、足の状態に加えて、外を歩く気も起こらない**暑さ**で断念し、ココイチを探しつつ軽く中を歩くことにします。途中の書店(兼文房具屋)で女房へのお土産なども探すも、特に収穫はありません。

そして結局のところ正午過ぎには、地下のココイチを発見したので入ることにしました。

汗だったので、まずはオレンジジュース (SGD 2) を注文して、ごくごく飲みます。



ココイチで昼食

朝食を済ませてからまだ2時間たっていないので、1時間ほどのんびりしてから食事を注文することにして、まずはメニューをつらつら眺めます。



基本は日本と同じく、ライスの量やルーの辛さを選べるココイチシステムなのですが、辛さの増量に割増料金がかかりません。

このへんがやはり、デフォルトで辛いもの好きの国ならではでしょうか。

あと、メニューに20%もの税・サービス料金が入るのにちょっと萎えました。

あと、日本と同じくアンケート用紙もテーブルの上にあるシンガポールのココイチです。

今日はココイチで昼食を済ませたら空港に移動するだけの予定にしたので、飲み物を飲みながら



グラブルなどをして暇を潰していたのですが、「ここで待つなら空港で待っても同じだ」と気がついたので（笑）、そろそろ昼食をオーダーして食べてしまうことにしました。

メニューにはシンガポール独自料理らしいものもあったものの、ココイチに来た自分の目的は

「ミャンマーで食べられない**禁断症状**を抑えるため」であったので、敢えて日本と同じ物を頼むことにし、フライドチキンカレーを注文。

さっそく届いたカレーに、机の上のピリ辛スパイスをかけて食べます。うん、日本と同じルーだ。チキンは衣がカリカリに揚げてありますが、ここは日本のような「もちもち」チキンにして欲しかったな。とはいえ、ココイチのフライドチキンカレーを食べたいという欲は満たされました。ご飯は普通にジャポニカ米ですし、全体としては期待通りの味で満足しました。

まだ朝食が少し胃の中に残っていたものの、おいしく完食。税込み SGD 21.05。やや高いけど、まあドリンク2本も頼んだし、税・サービス料が20%もかかるならそんなもんだろうな。

13時過ぎ、満足してココイチを出ます。

空港へ移動

ラッフルズ・シティの敷地内にある MRT シティホール (City Hall) 駅に入り、SGD 2.2 を支払って空港までの切符をチャージ。これで今回は最後の MRT になります。何ごともなくタナ・メラー駅で空港線に乗り換え、13時40分にはチャンギ空港ターミナル2に到着しました。巨大キティがお出迎え。



ジェットスターのあるターミナル1へのシャトルに乗り、移動して14時にはターミナル1に到着。まだ3時間あります。順調です。

帰りの荷物は7kgを超えているので、ズタ袋の方はさっさとカウンターに預けてしまっただけで身軽になりました。そして夏に帰国した際にこのズタ袋に入れておいた酒瓶が粉々になっていた事件を思い出したため、陶器であるフーターズのマグカップはリュックへ。



なかなか進まないジェットスターのカウンターにしばらく待たされたものの、14時半には発券と預け入れが終了し、だいぶ身軽になりました。

そしてその足でイミグレに並びます。自動イミグレ改札には「シンガポール国民のみ」と書いてあったので通常列に並んだのですが、係員が寄ってきて日本のパスポートを見せると「これなら自動で通れます」ということなので、その通りに従って機械でパスポートをスキャンして親指の指紋を取り、一瞬でイミグレを通過。

サンリオの国



イミグレを通過したので法的にはシンガポールの国外。そしてここはサンリオの国でした。

台湾の桃園空港のような常設展示ではなさそうでしたが、どうもクリスマスのフェアを行っていたらしく、空港施設のあちこちにサンリオの展示がありました（P.6 および P.49 参照）。

ヒマだったので自分も係員に撮影して貰います。

さらにイミグレを通るなり手渡されたチラシには

免税店の割引クーポンに加えて「SGD 60以上の買い物をしたら、9種類のサンリオのキャラのぬいぐるみ1個をSGD 7で購入する権利があります」とのことでした。

もとよりこれから免税店で女房への土産の化粧品を買うミッションがあったことから、念のために女房に連絡すると「欲しい」と即答されたので、これも購入することに。しょうがないなあ（笑）。

免税店で女房への土産に依頼されたブランド物の化粧品を日本よりは安いSGD 120ほど買って、さらにはそのレシートを特設受付に持って行ってマイメロのぬいぐるみを購入。

まったく金のかかる女だぜ！（笑）



自分への土産も買う

女房への土産ミッションもコンプリートしたので、いよいよあと2時間ほど待ってから飛行機に乗れば、GPシンガポール旅行も終了です。

機内の飲み物を確保したくもあったので、足を労わりながら構内をぶらぶら歩きます。



ふかふかの椅子のある待合室。ははあチャンギ空港が「世界一寝やすい空港」というのはこの辺を指しているのかなあ。

正直、初日に寝た場所はいまいちでしたが（P.6参照）。

財布の中を確認すると、まだ現金でSGD 100ほどあります。次にシンガポールに来られるのはいつか分からない（最速では来年ですが）ので、残していても仕方ありません。

ひとつ自分用の土産でも買うか、と思いました。



そしてふとおもちゃ売り場のスターウォーズのコーナーを覗くと、リモコンで歩くAT-ATのおもちゃが。お値段はSCG 80。

やべえ！これ欲しい！しかも**予算ぴったり！**
次の瞬間にはもうレジに並んでいました（笑）
これでお金も使い切り、あとは帰るだけです。

ミャンマーに戻る

時間を潰すうちに16時半を回り、手持ちのペットボトルを飲み干しゲートごとにある荷物検査を通ります。そして17時には優先搭乗が開始され、17時半には自分も搭乗して、出発。

3時間の空の旅を終えて、何ごともなく19時にはヤンゴン空港に到着しました。

※シンガポールとの時差があるので、1時間半時計が戻りました。

そしてイミグレを通過して空港を出てタクシーへ。これまでは空港から自分の住むレーダン地区までは600円くらいが相場だったのですが、なぜか今日は「空港係員」が来て「空港からのタクシーは固定価格になった」と伝えられ、その結果として800円を払わされる羽目に。偽係員でもなさそうですが、いきなり200円の値上げ。

10月のGP香港の帰りは、こんなのなかったのに！

まあ観光客には1000円とかにふっかけてくるから、これもありなのかもしれないけど…。

そんなこんなで20時にはホテルに戻ったので夕食。日本食は日本の倍くらいする国から、日本食でも日本の半額くらいの国に戻ったことを実感しつつ、今回のGP旅行記を終えたいと思います。

(完)

今回訪れた主なスポットは、こちらになります。



Copyright:Google

MRTが発達しているシンガポールでは、まずMRTで移動してから、その周辺をうろうろ歩くのが基本になりました。

このため訪問したポイントとは別に、歩き回った部分を緑色で表示してみました。

特にホテルの周辺は、それほど収穫もありませんでしたがほぼ毎晩歩いてしまいました。

夜の大人のスポットもこの中に含まれています(詳しくは本文を参照)。

GP シンガポール 2017 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2018年4月1日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者 (ひろじ) について：

<https://twitter.com/kondohi> (ツイッター。最近はここメインです)

<http://otakutalker.diarynote.jp/> (ダイアリーノート。マジック関連はここで)